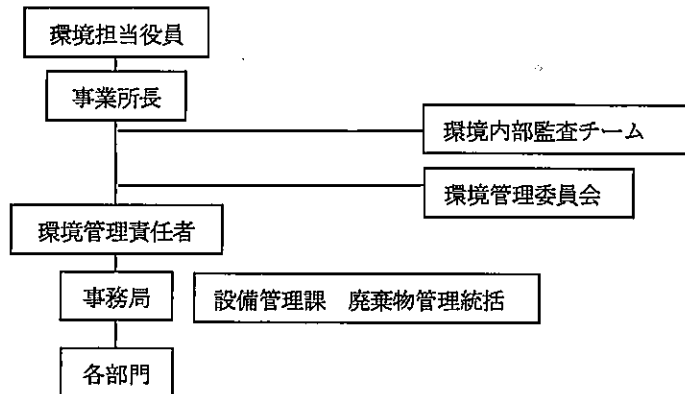


(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2023年6月28日	
静岡市長 難波 喬司 殿	
提出者	
住 所 静岡県静岡市清水区村松390番地	
氏 名 日立ジョンソンコントロールズ空調株式会社	
清水事業所	
代表取締役 秋山 勝司	
電話番号 054-398-5200	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	日立ジョンソンコントロールズ空調株式会社 清水事業所
事業場の所在地	静岡市清水区村松390番地
計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	一般機械器具製造業
② 事業の規模	製造品出荷額 約656億円 (※FY2022:2021年10月～2022年9月)
③ 従業員数	1,540名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<div><div>事業所 → 収集運搬業者 → 中間処理業者 → 最終処分業者</div><div>→ (直接再資源化) →</div><div>→ (燃料化)</div><div>→ (有価物化)</div></div> <p>【主な処理工程】</p> <p>(1)汚泥：脱水 ⇒ 焼成 ⇒ セメント原材料</p> <p>(2)廃酸&廃アルカリ：中和処理 ⇒ 残渣物はセメント原料化</p> <p>(3)廃プラスチック：分別 ⇒ セメント焼成燃料、発電所燃料、樹脂原料化</p> <p>(4)廃油：油水分離 ⇒ 再生重油燃料化</p> <p>(5)木屑：分別 ⇒ 製紙原料化、合板原料化、固形代替燃料化</p>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（2022年度）実績】 別紙の通り		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 廃プラスチック分別細分化による利材品への切替え ・ 廃棄物処理ルートの見直しによる利材化推進 ・ 油性廃油の利材品への切替え		
② 計画	【目標】 別紙の通り		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 海社製部品の納入荷姿見直しによる廃棄物受入量削減への取組み ・ さらなる廃プラスチック分別細分化による利材品への切替え		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 社内規則に基づく職場毎の分別廃棄実施 ・ 廃棄物担当部署による分別状況確認と分別指導の継続実施
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 社内規則見直しと分別作業教育の実施による分別廃棄の強化 ・ 職場毎の分別作業状況巡回及び指導

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（2022年度）実績】		別紙の通り
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		別紙の通り
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（2022年度）実績】		別紙の通り
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 製造工程の見直しによる廃水処理設備への廃水量削減		
② 計画	【目標】		別紙の通り
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 廃水処理設備更新による汚泥脱水効率の向上		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（2022年度）実績】		別紙の通り
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		別紙の通り
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（2022年度）実績】		別紙の通り
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄用ワンウェイフレコン袋再利用による処理量削減 ・廃プラスチックパレットの一部売却処理 ・廃木パレットの一部売却処理 ・廃プラスチック屑の減容処理装置による売却処理継続 		

② 計画	【目標】 別紙の通り		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・これまで取り組んできた対策の継続と拡大 ・委託処理業者への定期的な処理状況の現地確認を実施 (優良業者はインターネットで確認)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

前年度の産業廃棄物発生量 (2022年度)

[単位：トン]

	汚泥	廃油	廃酸	廃7カリ	木くず	廃プラスチック	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	安定型混合廃棄物	計
①産業廃棄物発生量	123.425	22.380	0.840	14.000	698.600	149.760	0.960	0.320	0.400	1010.685
②自己直接再生利用量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③自己直接埋立処分又は海洋投入量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
④自己中間処理量	95.413	0	0	0	0	0	0	0	0	95.413
⑤自己中間処理時熱回収量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑥自己中間処理残少量	12.170	0	0	0	0	0	0	0	0	12.170
⑦自己中間処理減少量	83.243	0	0	0	0	0	0	0	0	83.243
⑧自己中間処理後再生利用量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑨自己中間処理後自己埋立処分又は海洋投入量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑩直接委託及び自己処理後委託処分量	40.182	22.380	0.840	14.000	698.600	149.760	0.960	0.320	0.400	927.4417
⑪優良認定処理業者への処理委託量	40.182	14.19055	0.840	14.000	374.440	10.080	0.96	0.320	0	455.01255
⑫再生利用業者への処理委託量	12.170	0.00	0	0	149.630	2.510	0	0.320	0.400	165.030
⑬認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑭認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	28.012	22.38	0	0	548.970	147.250	0.96	0.000	0.000	747.5717

本年度の目標 (2023年度) 前年度比 1%削減

[単位：トン]

	汚泥	廃油	廃酸	廃7カリ	木くず	廃プラスチック	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	安定型混合廃棄物	計
①産業廃棄物発生量	122.191	22.156	0.832	13.860	691.614	148.262	0.950	0.317	0.396	1000.578
②自己直接再生利用量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③自己直接埋立処分又は海洋投入量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
④自己中間処理量	94.459	0	0	0	0	0	0	0	0	94.459
⑤自己中間処理時熱回収量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑥自己中間処理残少量	12.048	0	0	0	0	0	0	0	0	12.048
⑦自己中間処理減少量	82.410	0	0	0	0	0	0	0	0	82.410
⑧自己中間処理後再生利用量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑨自己中間処理後自己埋立処分又は海洋投入量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑩直接委託及び自己処理後委託処分量	39.780	22.156	0.832	13.860	691.614	148.262	0.950	0.317	0.396	918.167
⑪優良認定処理業者への処理委託量	39.780	14.049	0.832	13.860	370.696	9.979	0.950	0.317	0	450.462
⑫再生利用業者への処理委託量	12.048	0.000	0	0	148.134	2.485	0.000	0.317	0.396	163.380
⑬認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.000
⑭認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	27.732	22.156	0.00	0.000	543.480	145.778	0.950	0.000	0.000	740.096